PIX4Dfields 1.12

機能一覧

	特徴		詳細
インプット	マルチスペクトル画像		マルチスペクトルセンサーからの直下型画像をTIFFまたはJPEG形式で取り込み可能
	RGB画像		標準的なRGBセンサーからの直下型画像をJPEG形式でインポート可能
	事前に処理したマップ		他のPix4D製品で事前に処理されたオルソモザイクや植生指数マップをインポート（geoTIFFとしてインポート）
	ほ場境界		ほ場の境界線（シングルまたはマルチポリゴン）をインポートして、関心のあるエリアに焦点を当てた分析を行う（GeoJSON、KML、または Shapefile でインポート）。
	ジオタグ付きの画像		GPSタグ付きの画像を、位置情報注釈としてレイヤーに直接インポート（JPEGまたはTIFFでインポート）
	注釈		注釈（点、線、ポリゴン）をレイヤーに直接インポート（GeoJSON、KML、Shapefileでインポート）
ツールと機能	使いやすいインターフェース		農業従事者向けに開発された直感的で使いやすいインターフェース
	軽量かつパワフル		処理にインターネット接続やクラウドを必要とせず、ハイスペックでなくとも現場のノートパソコンで作業できる手軽さ
	ダッシュボードによるプロジェクト管理		主要作物情報を含めプロジェクト（農場、クライアント、組織）を管理
	正確な処理		高解像度数値表層モデル（DSM）、ジオロケーションの改善、標高変化の激しいデータセットに対応した「正確な処理」モード
	高速処理		空撮画像から高解像度の2Dマップを数分で生成し、現場のオフライン環境でも処理が可能
	GPUによる高速処理の強化		適切なGPUが利用できる場合、標準的なCPUに比べて処理速度が大幅に向上（現状RGBデータセットのみ）
	リグ相対補正		対応マルチスペクトルカメラ用のリグ相対情報によるバンドアラインメント向上再計算オプション
	ラジオメトリック補正		ほ場の境界線を作成またはインポートして、レイヤーを特定の関心のあるエリアにトリミング
	フィールド境界エディター		ほ場の境界線を作成またはインポートして、レイヤーを特定の関心のあるエリアにトリミング
	インデックス生成ツール		LCI、NDRE、NDVI、TGI、VARIなどの定義済み指標の自動生成
	指数計算機		保存して再利用することが可能な指標関数を入力してカスタム指標を作成
	ゾネーションツール		2〜7クラスの植生指数マップの情報をもとに、カスタムゾーンを作成
	処方ツール		精密農業アプリケーションのための適用率マップを作成
	比較ツール		異なるマップを分割画面またはダブル画面で比較
	注釈ツール		関心のあるエリアにタイトルや説明、ジオロケーション付画像を注釈に添付することが可能
	計測ツール		計測ツールで素早く距離および面積を測り、現場で分析
	統計情報		エリアサイズ、平均高度または指標値、標準偏差などを含むレイヤーと注釈の統計
	高度なレイヤーの可視化		標準化を含めたヒストグラム値の範囲が調整でき、関心のあるデータ値表示のコントロールが可能
	PDFレポート生成		PDFレポートエキスポートツールを使って全てのプロジェクト関係者とマップを共有し、円滑な連携をとる
	エクスポートツール		プロジェクトや個々のレイヤーを、画像サイズや形式を調整しながらコンピュータにエクスポートして利用可能
	PIX4Dcloudでの共有		PIX4Dfieldsのアウトプット（オルソモザイク、サーフェスモデル、インデックスレイヤー、アノテーション）をPIX4Dcloudに直接アップロードして共有する
	パンシャープン		パンシャープン機能でより高画質に

PIX4D

お問い合せ
pix4d.com/jp/fields

アウトプット	オルソモザイク		地図の解像度や品質を設定できるオプションを使用して、作物観察や評価のためにほ場のビジュアルマップを作成（geoTIFFでエクスポート）。
	数値表層モデル		灌漑、排水、浸食の管理に役立つ標高データ（geoTIFFでエクスポート）
	植生指数マップ		植生が最もストレスを抱えるエリアを確認し、作物保護、作物生産ワークフローを支援するためのマップ
	ゾネーションマップ		植生指数マップをより実用的なレイヤーに変換したマップ（Shapefile、KMLまたはGeoJSONとしてエキスポート）
	処方マップ		ゾネーションマップに各ゾーンの適用率の値があるもの（Shapefile、KMLまたはGeoJSONとしてエキスポート）
	フィールド境界		"ほ場の境界を利用して、関心エリアの集中的な分析を支援する（GeoJSON、KMLまたはShapefileでエクスポート）"
	注釈		関心エリアに注釈を加えることで、より価値のある、実用的な情報を伝達（GeoJSON、KMLまたはShapefileでエクスポート）
	PDFレポート		ロゴや連絡先を入れてカスタマイズしたプロジェクトレポートを簡単に共有可能（PDFでエクスポート
	統計情報		レイヤーと注釈の統計情報はスタンドアロンファイルとしてエクスポート可能（CSVエクスポート）
	スナップショット		注釈を含ませることのできる現在のマップビューのスナップショット（JPEG または PNG でエクスポート）
	圃場の境界線		圃場の境界線をMyJohnDeereにエクスポート
言語	言語オプション		英語、中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、ウクライナ語で利用可能

ハードウェアの仕様

- **CPU:** クアッドコアまたはヘキサコアのIntel i5（またはそれ以上のもの）
- **GPU:** 2GB RAMの内蔵または専用GPU（推奨：6GB RAMのGeForce GTX GPU）
- **HD:** SSD推奨される
- **OS:** Windows 11 / macOS Catalina (10.15)（もしくはより新しいもの）
- **RAM:** 8 GB RAM（またはそれ以上）

PIX4D

お問い合せ
pix4d.com/jp/fields